

大学院特別講義

(医歯学先端研究特論)(生命理工学先端研究特論)
(医歯理工学先端研究特論)

下記により大学院特別講義を行いますので、多数ご来聴下さい。

記

1. 講 師 日本大学歯学部口腔外科学講座 口腔外科学分野 教授
日本睡眠歯科学会 理事長
とのぎ もりお
外木 守雄 先生

2. 演 題 「OSA に対する顎顔面手術の応用、特に上顎気道形態
とその生理学的・流体力学的分析方法について」

3. 日 時 平成27年5月27日(水) 17時00分 ～ 18時30分

4. 場 所 7号館【歯学部校舎棟】2階 第3講義室

5. 内 容

睡眠呼吸障害(OSA)の治療法に顎矯正治療が注目されている。これは、小児期では呼吸は止らないが、中高年になり、呼吸停止が現れる。そうなる前、成長期に上下顎を適切に発育させ、良好な顎顔面形態を構築して、睡眠呼吸障害の発生を未然に防ぐという考え方からである。顎および舌と呼吸生理は密接に関連し、安定した矯正治療および咬合の安定には筋・呼吸機能の生理学的安定性が必須である。今回、OSA 対する顎矯正治療の現状を説明する。

連絡先： 島崎 一夫 (咬合機能矯正学分野 内線 5963)